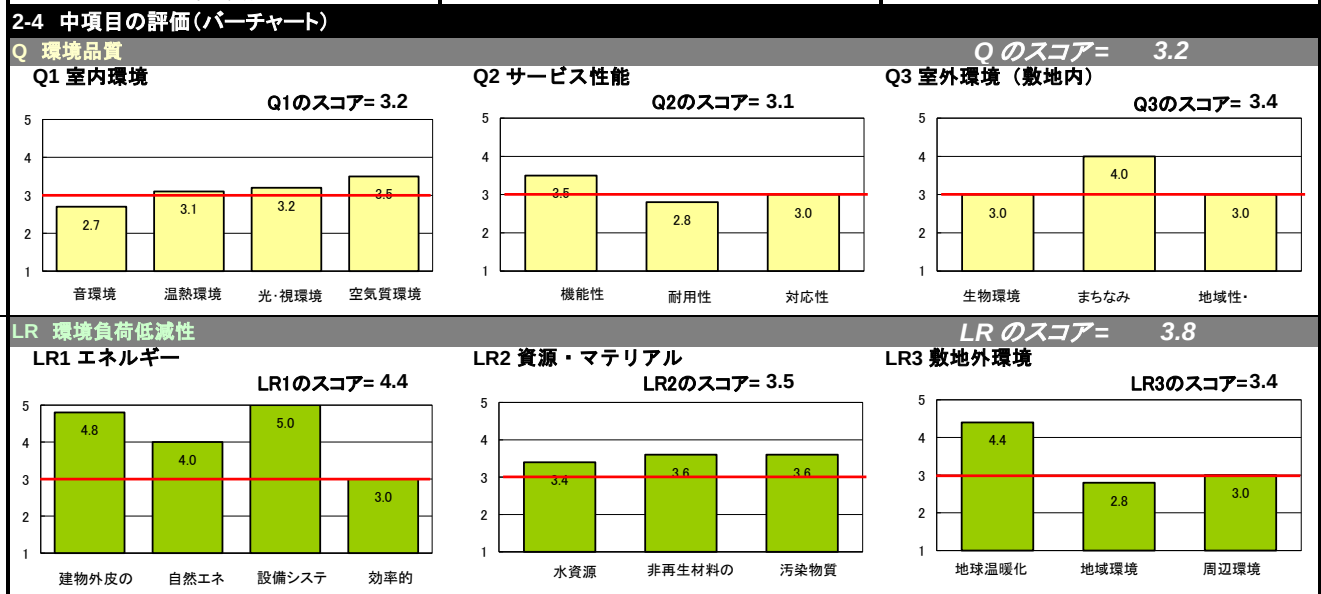
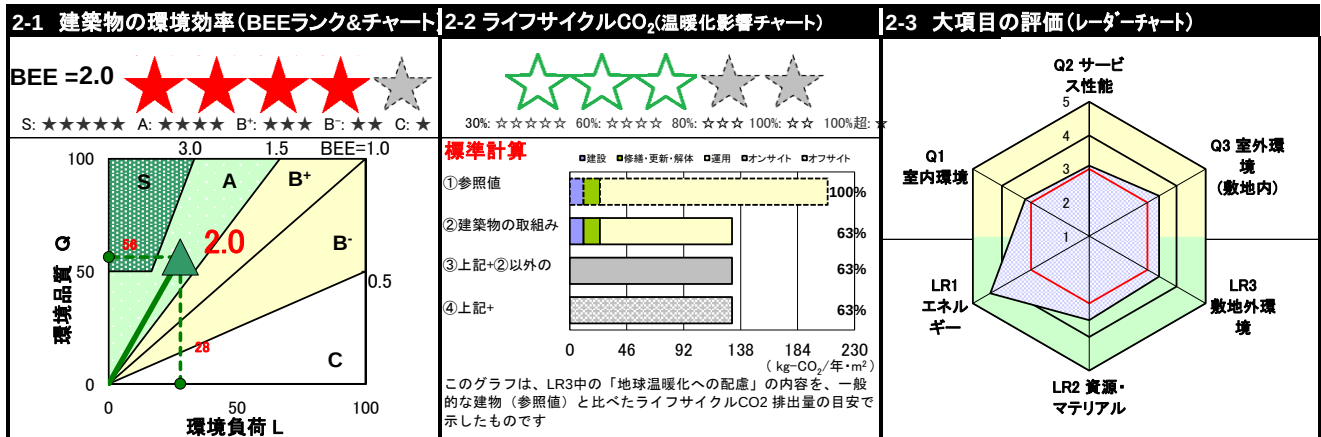
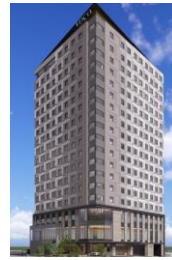


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島市南区的場町1丁目ホ	階数	地上18F地下0F
建設地	広島市南区的場町1丁目1-9,1-10,	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年4月 予定	評価の実施日	2025年9月14日
敷地面積	1,511 m ²	作成者	株式会社IAO竹田設計大阪第一事務所多々良
建築面積	1,087 m ²	確認日	2025年9月14日
延床面積	17,217 m ²	確認者	株式会社IAO竹田設計大阪第一事務所多々良



3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.8		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 4.2	スコア= 3.0	スコア= 3.0
設計の計画段階に配慮した事項 外皮性能の向上を図るとともに、LED照明を採用し、エネルギー消費の低減に努めている。/ エントランスホールは吹き抜けとし、ハイサイドライトを利用している。/ 高効率設備を採用し、省エネ性能を高めている。/ 省資源化に配慮し、躯体以外にはリサイクル材を採用したほか、断熱材にはODPが低いものを使用した。/ ライフサイクルCO ₂ を低く抑えることにより、長年にわたり環境負荷を軽減し地球温暖化の防止に付与できる建物となるように配慮した。	設計の計画段階に配慮した事項 /	設計の計画段階に配慮した事項 維持管理に配慮した設計、耐用年数の長い配管材料を採用するなど耐用性、信頼性に配慮している。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される